

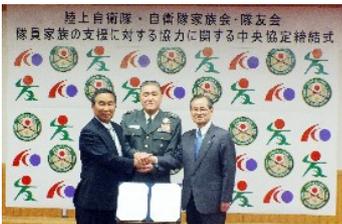
平成 29 年 6 月 月 報

1 はじめに

6月20日(火)に自衛隊家族会として最初の定期総会・理事会・式典等行事が行われますが、この一連の行事を「自衛隊家族会」に名称変更した記念行事として位置づけ、名実ともに自衛隊家族会としての各行事をスタートしたいと考えています。

各県等家族会におきましても、新信条の根本理念である「隊員に最も身近な存在であることに誇りを持ち、力を合わせて自衛隊を支える」家族会を目指し力強くスタートして頂きたいと思えます。

2 「家族支援協力」に関し中央協定を締結



陸上自衛隊、自衛隊家族会及び隊友会は、5月18日、陸上幕僚監部において「隊員家族の支援協力に関する協定書」を締結しました。

締結式には伊藤自衛隊家族会長が出席し署名を致しました。

この協定は、陸上自衛隊が行う隊員家族の支援に対して、自衛隊家族会、隊友会が行う家族支援協力に関する根拠となるものです。

右から伊藤自衛隊家族会長
岡部陸上幕僚長、
先崎隊友会理事長

6月1日には家族支援に関する陸幕通達が出され、家族支援協力が、本格的にスタートします。

3 LR - 2 事故殉職隊員葬送式

5月15日に発生した陸上自衛隊北部方面隊所属の連絡偵察機 LR-2 の航空事故により殉職した隊員 4 名の葬送式が5月27日、若宮防衛副大臣参列の下、丘珠駐屯地においてしめやかに執り行われました。本葬送式に倉前札幌自衛隊家族会長をはじめ多くの会員が参列しました。

危険を顧みず任務を遂行されたことに敬意を表し、家族会会員一同、心からご冥福をお祈り致します。

4 家族会の活動

(1) 平成29年度定期総会等

6月に行われる定期総会・理事会・表彰式・式典・祝賀会は、次のとおりです。

ア 時期・場所：6月20日(火)1245～1900、グランドヒル市ヶ谷

イ 総会

(ア) 議案審議

- *平成28年度事業報告
- *平成28年度収支決算報告・監査結果
- *ボランティア保険制度の導入
- *役員人事

(イ) 報告事項

- *平成28年度事業計画

- *平成28年度収支予算書
- *自衛隊家族会ロゴマークの選定と活用
- *分担金の見直し試案
- *家族支援協力の現状と今後の推進
- *会員拡大の現状と今後の推進
- *PKO等支援基金管理運営委員会報告

ウ 理事会

- *業務執行理事の選定
- *代表理事及び業務執行理事の業務報告

エ 感謝状贈呈及び表彰式

オ 記念式典

カ 祝賀会

(2) 募集協力者会同

ア 時期：6月21日（水）0930～1200

イ 場所：市ヶ谷駐屯地

ウ 内容

- *募集・援護・予備自衛官業務
- *家族支援業務
- *中期実員管理・女性採用枠の拡大
- *県家族会発表：熊本県自衛隊家族会

エ 参加者：各県等家族会長、各地域協議会担当委員、自衛隊家族会事務局長

(3) 家族会本部

ア 海賊対処派遣部隊を激励



贈呈する阿慶田会長

4月21日、那覇基地において第27次派遣海賊対処行動部隊（隊長：長尾秀樹2海佐）及びP-3C哨戒機2機の出国行事が行われ、阿慶田沖縄県家族会長が、派遣される隊員の安全及び任務の完遂を祈願し、自衛隊家族会からの激励品を贈呈しました。

イ 遠洋練習航海部隊の激励



5月22日、平成29年度海上自衛隊の初級幹部の遠洋航海の出国行事が、横須賀基地で行われ、小松理事が参加し、遠洋航海に向かう実習幹部190名を激励するとともに、花束を贈呈しました。この航海は、練習艦「かしま」、護衛艦「はるさめ」の2隻からなり、164日をかけて9ヶ国を訪問する計画です。

ウ 南スーダン派遣施設隊（第11次隊）の慰労



国連メダルの授与

南スーダン派遣施設隊（第11次隊要員）の帰国行事が、若宮防衛副大臣が参列のもと5月27日、陸上自衛隊青森駐屯地で行われました。第11次隊は、駆け付け警護任務が初めて付与されましたが、事案が発生することもなく、全員無事に帰国することができました。本行事に伊藤自衛隊家族会長及び対馬青森県自衛隊家族会長等多くの家族会員が参加し隊員を慰労しました。

南スーダンの部隊派遣は、第11次隊をもって終了しました。

(4) 各県等家族会

【空自第3航空団と協定締結】



青森県家族会

【ロゴマーク入り総会横断幕】

【練馬駐屯地と協定締結】



東京都家族会

【家族支援協力の勉強会】

【家族会あり方の検討】



鳥取県家族会

【福利厚生勉強会】



鳥取県家族会



京都府家族会



埼玉県家族会